



小田原なぎさ会通信

No.40

2026年4月1日発行

私たちは、「様々な障害を抱える皆さんがその方なりに自立した社会生活を送ること」を支援する活動に取り組んでいます。①気軽に立ち寄れる通所型の施設運営、②共生社会の実現に向けた普及啓発、③色々なところと力をあわせて(協力・協働)より効果的な支援を目指す連携、が事業の中心です。

つながりを広げ、更なる連携・協働へ

理事長 乾 恒雄



中東をはじめ国際情勢が不安定さを増す中、日本も原油調達など様々な影響を受け、物価高が続いています。また、近年は気候変動が要因と思われる災害も多く、明るい話題が少ない状況です。それでも季節は巡り、今年も日本では桜の季節を迎えました。今こそ、1人ひとりができることを行動に移すことが大切だと感じております。

昨年度も基本方針として「現在取組み中の活動継続とその内容充実に重点を置く」ことを掲げて事業を推進し、計画した活動を概ね順調に実施することができました。

この1年の特記としては、①アップサイクル(Upcycle)自主製品「エコマグネット」を、作業性の向上と材料費の削減を両立する次世代タイプ(GⅡ)へ進化させ、製作する施設利用者の更なる工賃向上を実現するとともに、イベントへの参加機会を増やすことにより、**昨年度の爆発的な販売に匹敵する5千個超の販売を達成**したこと(詳細次ページ参照)、②SDGs推進の一環として、小学生から大学生までの成長期にある若い世代へ出前授業などを通して「障害福祉の観点からのSDGs」について発信し、次世代に向けたSDGsに対する意識向上に寄与できたこと(詳細次ページ参照)や活動分野を超えた広い連携・協働が少しずつ実を結び始めたこと、③さらに医療機関との連携を深めたこと(詳細次ページ参照)などがあります。

施設運営では、従前同様に「気軽に立ち寄れる居場所作り」と「本人の希望や特性を配慮した相談支援・就労支援」を活動の2本柱として取組み、昨年度も2名の施設利用者を就労へつなげることができました。一方で、今後も施設利用者の多様化が進むと捉え、こうした方々へのより適切な支援の必要性を感じています。**「誰一人取り残さない支援」の実現**に向けた取組みはまだ道半ばであり、この道を少しずつでも前進させていきたいと考えています。

「普及啓発は私たちの活動の原点」であり、会員数も135名まで『活動の輪』が広がっています。今後も引き続き普及啓発に力を注いでいきたいと考えています。多様性の社会の中で、「障害のある皆さんも大切な仲間として共に暮らす地域・社会をつくる動きを広げていきたい」という想いを大切に、より多くの皆様と共に、この市民・社会活動を広げていきましょう。



小田原なぎさ会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

上記の想いや私たちの活動は、「SDGs」における①福祉の促進や差別の解消・不平等の是正、②自然環境の保護・回復(持続可能な生態系や森林の保護・回復、気候変動の軽減など)を通じた『誰一人取り残さない』**持続可能で多様性と包摂性のある社会**を目指す思想と、深くつながっていると考えております。



春めき桜 南足柄
2026.3.21

引き続き、ご理解とご協力、そして協働をよろしくお願いいたします。

このページでは、私たちの法人活動や運営施設「なぎさ」(地域活動支援センター)での各種活動・イベントなどの様子を中心に紹介させていただきます。

SDGs パートナー活動と新たな連携・協働の進展

神奈川県及び小田原市のSDGs パートナーとして、障害福祉分野を中心に各種活動に取り組んでいます。

次世代へのSDGs 発信



小田原市との協働などによる ①児童を対象とした夏休み SDGs 学習企画に参加 ②高校でのSDGs 出前授業実施 ③大学での学生と教職員に向けたSDGs 講演などにより、小学生から大学生までの成長期にある若者たち(次世代)に向けて「障害福祉の観点から捉えるSDGs」について積極的に発信しました。

引き続き、SDGs への取り組みや行政機関などとのつながりを深める中で、活動分野や立場の違いを超えて広く連携・協働を推進し、私たちの活動を発展させていきます。

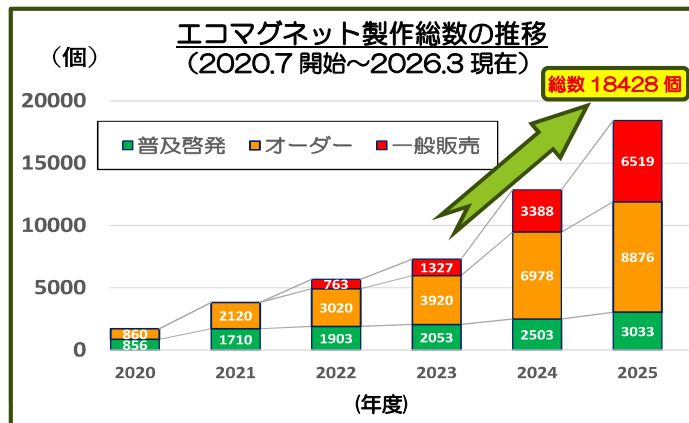
エコマグネットの販売拡大と今後

コロナ禍で生まれたアップサイクル(Upcycle)自主製品『エコマグネット』は、次世代タイプ(GII)へ進化し、好調にその販売数を伸ばしています。また、施設利用者の意識にも変化が生まれつつあります。

イベント参加強化とスペシャルデザイン

『エコマグネット』をGIIへ進化させたことに加え、製作販売数量の増加も相まって、更なる工賃向上を達成しました。昨年度はイベント参加を増やすと共に、「イベント当日限定販売のスペシャルデザイン」エコマグネットを販売するなどの工夫を盛り込み、イベント会場での一般販売を大きく伸ばしました(右グラフの赤色部分)。イベント企画者のご理解と協力、そして協働に感謝いたします。また、多くが休日での活動になりましたが、当法人の全役員と有志ある会員が活動に参加してください、販売推進の大きな力になりました。

【各種スペシャルデザインのエコマグネット】



施設利用者が「自身で作って、自ら販売へ」

(以下、「施設利用者」を「利用者」と記載します)

上記各種イベントでのエコマグネット販売に、これを製作している利用者さん達から「販売もやりたい!」と、販売への自主的な参加希望が出てきました。希望する利用者のみなさんと一緒になって販売活動を始めています。

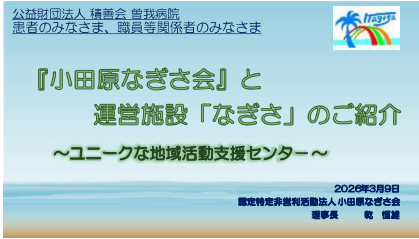


《利用者さんの声：販売への動機・やってみて感じたこと・今後などについて聞きました》

- ゆくゆくはアルバイトとかに挑戦したいのですが、接客が苦手な練習になるかと思い販売をやらせてもらいました。やってみたら、お客さんが買ってくれると嬉しくて、段々と楽しくなってきました。このためか、作る方も益々楽しくなっています。これからももっと販売したいです。 Y.S さん
- 元々販売してみたかったのですが、やってみたら面白かったし、買ってもらったら嬉しかったです。自分たちで作ったものを直接お客さんに手渡せるのは凄く嬉しい。最初の声掛けの言葉が出てこないで、まだまだ修業が必要です。体調と相談しながら、これからも参加したいです。 Y.K さん
- 他の人がやっていたので、やってみたら面白かったです。サンドイッチマンになった感じで楽しかった。乾さんの販売力、半端ないです。体調が良ければ、もちろんまたやります。 K.H さん
- 昔、店員の仕事をしていたことがあり、その頃を思い出して販売に挑戦したくなりました。作るだけでなく、販売でも役に立ちました。知らない人と話す機会が少ないので、販売していたら色々な方と出会って自分の障害のことも話せて良かったです。また是非やりたいです。 T.U さん

「エコマグネット」を通して、私たちが取り組んでいる障害福祉活動を広く認知していただくと共に、その先の協働につなげていきます。販売活動を通して、利用者さん達が何かを感じ考えている様子で、その想いを大切にしながら支援していきたく思います。本年度は販路開拓に力を入れ、道の駅など色々な店舗への「常設委託販売」による販売拡大にも挑戦します!!!

医療機関との連携強化 ～最初の一歩からこの先へ～



地域との連携や協働に向けた取組の1つとして、年4回の頻度で地域ネットワーク会議を開催しています。この会議の場で拳がった話題がきっかけとなり、精神科病院である曾我病院にて患者のみなさんや職員のみなさんに向けて「当法人及び運営施設の紹介」を行う機会をいただきました。このような取組は双方にとって初めての試みでしたが、「先ずはやってみよう！」という思いで開催し、更なる連携強化に向けた最初の一歩を踏み出すことができました。

当日は約30名のみなさんが集まってくださり、私たちは先ず「様々な障害を抱えるみなさんがその方なりに自立した社会生活を送れるように支援する団体」であることを説明しました。続いて、運営する施設の様子（生産活動や創作活動・各種イベントなど）や私たちの地域活動支援センターならではのユニークなところなどを、写真や図を使って極力解りやすく紹介しました。「通所するのに費用がかかりますか」といった質問が出るなど関心を持っていただけ、先ずは私たちの存在を知っていただくところ（認知）から始まる有意義な場になりました。

病院側では、参加された患者のみなさんにアンケートを取ってくださりました。異口同音に「色々を知ることができて、よかった」「もっと話を聞きたい」「ありがとう！」など全てが肯定的な内容で、私たちを受け入れていただけ嬉しく思います。職員のみなさんからも「来年以降も継続してお話をさせていただきたい」「地域活動支援センターの認識を改めました」などの反響をいただきました。



このような取組から医療機関との相互理解と連携を深める中で、患者のみなさんが退院して地域での社会生活を始める際に私たちの地域活動支援センターが「地域社会とのパイプ役」として大きな役割を果たすことを再認識しました。今後もこのような発信と相互理解の機会を増やして、医療機関とのつながりを更に深めると共に連携の輪を広げていきたいと考えています。

運営施設『なぎさ』での活動紹介 創作活動や余暇活動など ～この1年を振り返って～



約1年前から定期的な活動として「創作活動」や「余暇活動」を開始しています。利用者さんが楽しみながら創造力や自己表現力を高めることを目指したもので、当初は職員も利用者さんも「どんなことをやろうか」と手探りからの出発でした。

創作活動：「季節の折り紙アートと貼り絵」や「折り紙小袋（単品エコマグネット販売時に活用）」などをみんなで協力しあって作っています。このような活動の中から、仲間意識や協力する姿勢を利用者さん自身で育んでいくように支援しています。

余暇活動：「改めて自己紹介」をテーマに、自分の名前・好きなこと・想っていること等を自由に話し合う中で、自分の障害について語る利用者さんも現れるようになりました。その他に、利用者さんが進行役を担当する「クイズ大会」なども試みています。



折り紙小袋とエコマグネット

《利用者さんの声》

- ・「おりがみ」は今まで折った事のないものを折って楽しかったです。 S.Kさん
- ・貼り絵は大きかったので出来たのですが、小さくなると難しいと思います。 R.Tさん
- ・ハロウィンのカボチャやコウモリを折り紙で作ったのが楽しかったです。 Y.Kさん
- ・クイズや計算をやったときは勉強になりました。 E.Kさん
- ・クイズ大会は、頭を使って考えるので面白いです。 Y.Kさん



当初は参加することをためらっていた利用者さんが、「少し様子を見てみよう」から「やってみよう」へと気持ちが変わり、参加の一歩を踏み出したケースがあります。また、生産活動では見られなかった利用者さんの一面を垣間見ることができ、より適切な支援にも役立っています。一方で、思ったようには進まなかったこともあり、この1年を振り返って更に充実した活動に発展させて行きたいと考えています。そして、「見守る人」「参加する人」「進行する人」など様々な形で参加を促して、なぎさで過ごすひと時が利用者さん1人ひとりにとって貴重なものとなるよう努めていきます。

事務局からのお知らせ

認定NPO法人小田原なぎさ会では、毎月下記のような様々なイベント等を企画しております。会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。お問い合わせは事務局までご連絡願います。

●今までの主な活動（R7年10月～R8年3月）

10/1	機関紙 小田原なぎさ会通信 No.39 発行	11/15・16	おだわらツデーマーチ参加（普及啓発・ICMG ネット販売）
10/3	赤い羽根共同募金活動参加（共同募金会）	11/21	平塚看護大学 地域密着健康教育企画実施
10/5	富士見地区スポーツフェスティバル参加	11/30	第10回 UMECO 祭り参加（普及啓発・ICMG ネット販売）
10/11・12	国際医療福祉大学「潮風祭」参加（ICMG 販売）	12/2	第3回地域ネットワーク会議（広域）開催
10/19	生きがいふれあいフェスティバル参加（啓発・ICMG 販売）	12/19	クリスマス地域交流会開催（普及啓発・ICMG ネット販売）
10/25	おだわらハートフェスタ参加（普及啓発・ICMG 販売）	1/23	ハートメッセージ（県精連主催）参加（普及啓発・ICMG ネット販売）
10/26	企業 NPO 学校パートナーMTG 参加（県主催）	2/10	第4回地域ネットワーク会議（近隣）開催
10/31	「おたのしみ会」（市事連主催）参加	2/13	曾我山みかん収穫体験開催（協力：曾我山応援隊）
11/8	小田原いっせい防災訓練参加	2/21	おだわら R711（つながる福祉展）参加（普及啓発・ICMG ネット販売）
11/9	新田公民館文化祭参加（普及啓発）	3/8	社協さんちの井戸端会議（社協主催）参加（普及啓発・ICMG ネット販売）
		3/12	令和7年度 第3回理事会開催

●今後の主な活動予定（R8年4月～R8年9月）

4/1	機関紙 小田原なぎさ会通信 No.40 発行	7/月上旬	各種外部開催イベント参加開始（普及啓発・ICMG ネット販売）
4/6	「農作業」開始（通年活動）	7/8	第2回地域ネットワーク会議（近隣）開催
4/22	かながわSDGs パートナーMTG 参加	8/8	「南鴨宮夏祭り」参加・出店（普及啓発・ICMG ネット販売）
4/24	令和8年度第1回理事会開催	8/19	令和8年度第2回理事会開催
5/26	2026年（令和8年）度通常総会開催	9/1	施設内防災訓練開催
6/10	第1回地域ネットワーク会議（広域）開催	9/25	第13回「なぎさ祭」開催

●小田原なぎさ会へのご入会の案内と寄附について

★会員募集中：一緒に障害を持つ皆さんの多面的な支援を進めましょう！

会員になっていただくことで、障害者の支援活動につながります。大切に考えていることは『皆さんの想いや心であり、仲間意識』なのです。直接的な活動の時間確保を求めるようなことはありません。

◆小田原なぎさ会会費について

- ・正会員：（個人）入会金0円 年会費2,000円（団体）入会金0円 年会費10,000円
- ・賛助会員：（個人）入会金0円 年会費1,000円/口（団体）入会金0円 年会費5,000円/口

★「寄附」というかたちで、小田原なぎさ会の活動を応援願います！

当法人は『認定NPO法人』及び『指定NPO法人』を取得しています。寄附をしていただきますと申告することで、国税と地方税をあわせて寄附金額の最大50%が税額から控除されます。また、法人様からのご寄附の場合では損金算入限度額が拡大されます。

≪令和7年度（R7年4月1日～R8年3月31日）に頂戴致しました寄附金額のご報告≫

件数 9件 総額 400,000円 誠にありがとうございました。

会費・寄附の振り込みは下記口座へお願いいたします。会費支払いには、便利な口座振替（年1回自動引き落とし）もごさいます。詳しくは事務局までお問い合わせください。

■ゆうちょ銀行 記号10970 番号34276131 トクヒ）オダワラナギサカイ

*他銀行から振り込みの場合（店名）〇九八（ゼロキュウハチ）（店番）098 普通貯金3427613

■さがみ信用金庫 南鴨宮支店（普）0226591 トクヒ）オダワラナギサカイ

次号（No.41）は令和8年10月に発行予定です。当機関紙の感想や障害福祉に関する情報等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ願います。これからも、皆様に愛されるより良い紙面作りに努めてまいります。

発行：認定NPO法人 神奈川県・小田原市指定NPO法人 小田原なぎさ会

〒250-0875 小田原市南鴨宮3-16-20 2F

Tel/Fax 0465-47-4513

E-mail o-nagisa@nifty.com

ホームページ <https://www.nagisakai.org/>

Facebook <https://www.facebook.com/odawaranagisakai>

小田原なぎさ会のホームページをご覧になるには

検索サイトで「小田原なぎさ会」と入力いただくか
右のQRコードをスキャンでアクセスできます

